

RED HAT OPENSTACK PLATFORM

Red Hatが提供するOpenStackの価値

あらゆる業界・業種の企業がOpenStackの活用を真剣に検討し、本格導入に向けた取り組みを進めています。これは、OpenStackそのものの成熟に加えて、「仮想化統合基盤の代替品」、「いままでと同じことをより便利に行うツール」という誤解を払拭し、OpenStackの真価に開眼する企業が

増加している事を意味します。

OpenStackが実現するクラウドインフラの革新を取り込みながら、企業文化そのものの変革に取り組むエンタープライズ企業に向けて、Red Hatが提供する価値をあらためて整理してみましょう。

OpenStackが支える企業インフラの変革



OpenStackのメリット

OpenStackは、パブリッククラウド基盤をモデルにして、その開発がスタートしました。一般企業のデータセンターにおいて、「パブリッククラウドと同等の機能」を実現することは、開発コミュニティの当初から変わらない大きな目標の1つです。そして、OpenStackが提供するクラウドインフラを利用するユーザーの視点では、「**マルチテナントによるインフラの共有**」と「**セルフサービスによる利便性**」がその最大のメリットとなります。

これらのメリットを実現するために、OpenStackでは、サー

バー、ストレージ、ネットワークからなる「インフラの3大要素」を抽象化したパーツとして提供し、**API経由で自由に操作できる環境を実現**しています。これにより、複数のプロジェクトが相乗りする統合インフラにおいても、インフラ管理者の作業スケジュールに煩わされず、それぞれのプロジェクトは**迅速にシステム構築・開発を進めることが可能**になります。アプリケーションの開発速度を上げながら本番リリースの頻度を高める、「DevOps」の実現を目指す企業に必須のインフラであることは、間違いありません。



OpenStackの技術的特徴

技術的な視点では、OpenStackの特徴は下記の3つにまとめることができます。OpenStackは、さまざまな機能単位でコンポーネントが分割されており、それらがAPIを介して**相互連携**します。また、OpenStackに対応したさまざまなネットワーク

製品、ストレージ製品とプラグインを介して連携します。利用環境の規模や用途に応じて、最適な価格、性能、管理性を持つベンダー製品と組み合わせられるのもOpenStackならではのメリットです。

スケーラビリティを実現する
疎結合アーキテクチャー

APIで操作する
「Programmable Infrastructure」
を提供

プラグイン方式による
ストレージ/ネットワーク製品との連携

OpenStack導入時のポイントと RED HAT OPENSTACK PLATFORM (RHOSP)の価値



OpenStack導入時のポイント

グラウンドデザイン

OpenStack導入時は、利用環境の規模や用途に応じた「グラウンドデザイン」が必須となります。これには、使用するコンポーネントの選択と物理サーバーへの配置方法、そして、プラグインとして使用するストレージ/ネットワーク製品の選択などが含まれます。コミュニティ

が開発する最新のOpenStackには、理念としては先進的であるもののまだ完成度の低いコンポーネントも数多くふくまれています。また、サードパーティ製のプラグイン製品は、それぞれに提供する機能の範囲が異なり、前提となるハードウェア構成にも違いがあります。

ベストプラクティス

Red Hatが提供する「RED HAT OPENSTACK PLATFORM (RHOSP)」では、OpenStackに含まれるコンポーネントの中から、一般企業での利用に適したコアコンポーネントを選定して、可用性とスケラビリティを考慮したコンポーネント配置のベストプラクティスを提供しています。また、サードパーティ製のプラグイン製品については、認定ソフトウェアパートナー、および、認定ハードウェアパートナーとの協業により、各パートナーによる動作認定済みの製品リストが公開されています。

OpenStack導入時は、検討の初期段階においてこれらのグラ

ウンドデザインを適切に実施することが大切です。Red Hatのグローバルプロフェッショナルサービス (GPS) では、高い技術スキルを持ったアーキテクトやコンサルタントがRHOSPのベストプラクティスに基づいた適切なグラウンドデザインの実現をご支援させていただきます。お客様自身がRHOSPの知識を体系的にマスターするためのトレーニングコースと認定試験も提供しています。

詳しいトレーニング情報はこちらから >>>

<http://jp-redhat.com/training/>

RED HAT OPENSTACK PLATFORM (RHOSP)のメリット



RHELの開発・保守で培った品質テストと保守プロセス

RHELとOpenStackを一つの製品として提供

RHOSPは、開発コミュニティが作り上げたソースコードを基にRed Hat独自の品質テストを経た後、OpenStackが稼働するホストOS/ハイパーバイザーとなるRed Hat Enterprise Linux

(RHEL)とセットで出荷されます。これにより、OpenStackとハイパーバイザーの組み合わせに起因する組み合わせ問題を排除して、**システムの安定稼働と一貫した保守サポートを実現**します。

コミュニティサポートの終了後も商用製品としてサポート

OpenStackは、頻りに新しいメジャーリリースが提供されるため、過去のリリースは、コミュニティにおける保守が早期に終了します。これは、セキュリティ上の重大な問題があったとしても、過去のリリースに対する修正はコミュニティからは提供されないことを意味します。一方、RHOSPとして提供されたソフ

トウェアは、Red Hat独自のライフサイクルに基づいて、商用製品としての**サポートが継続提供**されます。

レッドハットは導入前の設計支援から導入後の保守サポートまで、万全の体制で、企業インフラとしてのOpenStack活用をご支援させていただきます。